

本棚サービスを用いた図書館学習コミュニティの形成

Organization of Learning Community in Libraries Using the Bookshelf Service

学籍番号：201321632

氏名：小林映里奈

Erina KOBAYASHI

近年の情報技術の発展に伴い、図書館の社会的役割が変化しつつあり、同時に図書館が提供するサービスにも変化が求められている。図書館が知識の伝達を行う場から知識創造支援を行う場へと変化する流れの中で、ラーニング・コモンズの設置やシステムによる研究が行われているが、知識創造の基盤としてコミュニティの形成が適切に行われていないことが問題として考えられる。

本研究では大学図書館における知識創造を支援するため、図書館利用者による学習コミュニティを形成することを目的とし、(1)コミュニティ構成員は学習することを目的とする、(2)コミュニティで行われる学習として構成員の共通理解を形成しながら成果物を作り上げている、(3)構成員のコミュニティへの帰属意識が現れている、の三点を満たすコミュニティを形成することを目指した。

図書館利用者の学習コミュニティを形成するため、本棚サービスを用いたコミュニティ形成システムを構築した。システムには個人が利用するための個人本棚とシステム利用者全員が利用可能な公開共有本棚であるテーマ本棚の二種類の本棚を実装し、これらの本棚を用いてテーマに関するコレクションを形成することでテーマについての学習コミュニティを形成することを目指した。

システムは評価実験を行い、システムの利用ログとアンケートを収集した。その結果、(1)コミュニティ構成員は学習することを目的にしている、(2)コミュニティで行われる学習として構成員の共通理解を形成しながら成果物を作り上げている、(3)構成員のコミュニティへの帰属意識が現れている、と学習コミュニティの形成の要件である三点を満たす被験者の集合が見られたため、本システムを用いることにより学習コミュニティを形成することが可能となった。ただし、今後の課題として被験者数の不足と実験期間を十分に設けることができなかったことが挙げられるため、実験の構図を見直すことでよりよいコミュニティ形成につながることを期待される。

研究指導教員：宇陀 則彦

副研究指導教員：池内 淳